

追放されたチート付与魔術師は気ままなセカンドライフを謳歌する。 俺は武器だけじゃなく、あらゆるものに『強化ポイント』を付与できるし、俺の意思でいつでも 効果を解除できるけど、残った人たち大丈夫？ の あらすじ

第1章 チート付与魔術師のセカンドライフ

章全体のあらすじ

付与魔術師のレイン・ガーランドは、7年間尽くしてきたギルド「王獣の牙」から一方的に追放される。仲間だと思っていた者たちから道具扱いされていたことを知り、報復として彼らの武具に施した強化をすべて解除する。その結果、膨大な「強化ポイント」がレイン自身に戻り、自身の能力が大幅にレベルアップしていたことに気づく。手持ちの安物の剣と服にポイントを付与し、伝説級の装備を手に入れたレインは、隣町のギルド「青の水晶」で心機一転、冒険者として再出発する。温かい仲間たちと出会い、初クエストでドラゴンをあっさり討伐するなど、チート級の能力で無双を開始する。一方、レインを失った「王獣の牙」は、装備の弱体化により急速に衰退していく。レインの新たな冒険者人生（セカンドライフ）が、S級冒険者リリィ・フラムベルとの出会いをきっかけに本格的に幕を開ける。

この章の新しい登場人物

- レイン・ガーランド：主人公の付与魔術師。所属していたギルドを追放されたことで、自身の付与魔術がチート級に成長していたことに気づく。
- ニーナ：冒険者ギルド「青の水晶」の受付嬢。黒髪の清楚な美少女。
- エルシー：「青の水晶」のギルドマスター。赤髪で気が強そうな印象の美女。
- バーナード・ゾラ：「青の水晶」の序列一位だった魔法使い。レインの初クエストに同行し、彼の強さを目の当たりにする。
- バリオス：ギルド「王獣の牙」のギルドマスター。レインを追放した張本人。
- 聖騎士リリィ・フラムベル：大陸最強ギルドの一つ「皇帝の盾」のエースで、S級冒険者。レインの噂を聞き、彼を訪ねてくる。
- ドラゴン：レインが「青の水晶」での初クエストで討伐したモンスター。

1 追放された付与魔術師

付与魔術師のレイン・ガーランドは、7年間所属していた冒険者ギルド「王獣の牙」から、装備の強化が完了したことを理由に「用済み」として追放される。仲間だと思っていたギルドメンバー全員から嘲笑されたレインは、報復として彼ら512人の武器と防具に付与した全ての「強化ポイント」を遠隔で解除することを決意する。

2 いつのまにか付与魔術がチート級に成長していた

「王獣の牙」のメンバーから回収した膨大な「強化ポイント」を自身の安物の銅剣と服に付与しようとしたレインは、自身の能力がレベルアップし、一つのアイテムに付与できる強化ポイントの上限が+100から大幅に上昇していることに気づく。結果として『銅の剣+10000』と『布の服+3033』という伝説級の装備を手に入れたレインは、ソロの冒険者として自由に生きていくことを決意する。

3 銅の剣+10000

隣町の冒険者ギルド「青の水晶」を訪れたレインは、受付嬢のニーナとギルドマスターのエルシーに歓迎され、冒険者登録を行う。その最中、ギルドに絡んできた柄の悪い冒険者たちに対し、強化した銅の剣を軽く一振りする。その一撃は大地と空間を切り裂くほどの威力を発揮し、彼らを恐怖させ撃退した。

4 もしかして……武器が弱くなってる!?!《追放者SIDE》

レインを追放した「王獣の牙」では、ギルドマスターのバリオスが、レインを訪ねてきた聖騎士リリィ・フラムベルに「彼は休暇中だ」と嘘をついて追いつ返す。その日の午後、ギルドメンバーたちの装備から強化効果がすべて消え、ただの武具に戻っていることが発覚し、ギルド内に動揺が広がる。

5 初めてのクエスト

「青の水晶」での初仕事として、レインは放置されていたドラゴン討伐のクエストにソロで挑むことを決める。彼の無謀さを心配したギルドの先輩であり序列一位の魔法使いバーナード・ゾラが、助太刀として同行を申し出る。

6 仲間の装備を強化する

ドラゴン討伐に向かう道中、レインは同行してくれたバーナードの杖とローブに強化を施す。他人への付与には上限(+300)があることが判明するが、それでも装備は格段に強化され、バーナードを驚かせる。仲間を強化できることに喜びを感じるレインだった。

7 ドラゴン相手に無双する

遭遇したドラゴンにいきなりブレスで攻撃されるが、レインは『布の服+2733』の圧倒的な防御力でそれを無傷で防ぎきる。そして『銅の剣+9700』を振り下ろし、空間ごとドラゴンを両断するという、同行したバーナードが腰を抜かすほどの力で一撃で討伐する。

8 はがれ始めた『最強』のメッキ《追放者SIDE》

レインが付与した強化を失った「王獣の牙」では、メンバーたちが格下のモンスターにすら苦戦を強いられ、クエストの失敗が続出していた。ギルドのクエスト達成率は激減し、大陸最強という評価が揺らぎ始める。ギルドマスターのバリオスは、ギルドの成功がレインの強化に大きく依存していたという事実に直面し、焦りを募らせる。

9 セカンドライフの始まり

ドラゴンを討伐しギルドに戻ったレインは、バーナードから「青の水晶」のエースの座を譲られる。ギルドの温かい雰囲気に触れ、ここで本格的に活動していくことを決意する。高難易度のクエストをこなしてギルドのランクを上げることを目標に定めた矢先、レインを訪ねてS級冒険者のリリィ・フラムベルがギルドに現れ、彼の新たな人生が動き出す。

第2章 付与魔術師と聖騎士

章全体のあらすじ

S級冒険者の聖騎士リリィ・フラムベルがレインを訪ね、剣の強化を依頼する。レインは快諾するが、自身の強大すぎる力に銅の剣が耐えきれず破損してしまう。レインの力に耐えうる「伝説の剣」を求め、二人は竜王国ガドレーザにある「光竜の遺跡」へと旅立つ。一方、レインを追放したギルド「王獣の牙」は、代わりの付与魔術師の能力が低すぎたことで冒険者の大量離脱を招き、崩壊の一途を辿っていた。遺跡の最深部で、レインは道中でレベルアップして得た新能力「スキルのラーニングと強化」を使い、剣を守る上級ドラゴンを撃破。ついに伝説の剣「燐光竜帝剣(レファイド)」を手に入れる。

この章の新しい登場人物

- 地皇獣(ベフィモス): 「光竜の遺跡」の中ボスの一体。A級モンスターであり、人間を上回る知性と超高速の突進能力を持つ。
- 上級ドラゴン: 「光竜の遺跡」の最深部で「燐光竜帝剣(レファイド)」を守る番人。二つの首を持つ強力な竜。

1 聖騎士リリィとの出会い

S級冒険者の聖騎士リリィ・フラムベルが、剣の強化を依頼するためにレインを訪ねてくる。彼女は以前「王獣の牙」を訪れたがレインが不在だったため、移籍先である「青の水晶」まで追いかけてきたのだった。レインが依頼を快諾した直後、彼の所持していた『銅の剣+10000』が、その強大な力に耐えきれず自壊してしまう。

2 +10000に耐える武器

レインはひとまず、リリィの剣を他人への付与上限である「+300」まで強化する。そのお礼として、また、破損した剣の代わりとして、リリィはレインの強大な強化に耐えうる「伝説の剣」のありかまで案内することを提案する。レインはその申し出を受け入れ、リリィと共に剣探しの旅に出ることを決める。

3 冒険者たち、大量離脱の兆し《追放者SIDE》

「王獣の牙」では、装備が弱体化したことに不満を募らせた冒険者たちが、ギルドマスターのバリオスに詰め寄っていた。バリオスは代わりにの付与魔術師を雇うが、その実力はレインに遠く及ばず、「+3」程度の強化しかできない。この結果に失望した冒険者たちは次々とギルドを去っていき、「王獣の牙」は崩壊の危機に直面する。

4 伝説級の剣を求めて

レインとリリィは、伝説の剣「燐光竜帝剣(レファイド)」が眠る竜王国ガドレーザへ向けて馬車で旅を始める。道中、リリィとの会話の中で、レインは過去のギルドでの辛い日々を思い出しつつも、この旅を休暇と捉えて楽しむことに気持ちを切り替える。

5 竜王国ガドレーザ

竜王国に到着した二人は、現地のギルド「霸王竜の翼」を訪れ、目的の剣が眠る「光竜の遺跡」への挑戦許可を求める。レインの冒険者ランクがD級であることからギルドマスターは難色を示すが、S級冒険者であるリリィの強い推薦により、挑戦は許可される。

6 光竜の遺跡

遺跡の探索を開始すると、道中のモンスターはリリィがほとんど一人で倒していく。しかし、遺跡の中ボスの一体であるA級モンスター「地皇獣(ベフィモス)」が出現。ベフィモスはリリィの反応を上回る超高速の突進を繰り出し、彼女を一撃で戦闘不能に追い込む。

7 VS地皇獣

リリィに代わってベフィモスと対峙したレインは、自身の身体能力では相手の速度に対応できないと判断。突進の軌道を読み切り、強化した剣の範囲攻撃を放って一撃で撃破する。この勝利により、レインの付与魔術はレベル2にアップし、「新たな領域」が解放されたことが告げられる。

8 近い将来の降格、そして没落……《追放者SIDE》

「皇帝の盾」のギルドマスターがバリオスを訪ね、冒険者の大量離脱やスポンサー離れが起きている「王獣の牙」は近い将来に没落するだろうと忠告する。たった一人の付与魔術師を追放しただけでギルドが崩壊寸前に追い込まれている現実に、バリオスは絶望する。

9 上級ドラゴン

ベフィモスを倒した直後、遺跡の最深部を守る上級ドラゴンが出現する。リリィは果敢に挑むが、ドラゴンの尾の一撃で吹き飛ばされ、再び戦闘不能になってしまう。絶体絶命の中、レインの脳内にレベルアップで得た「第二術式」の起動を促すアナウンスが流れる。

10 チート付与魔術、新領域

レインは付与魔術の「第二術式」を発動する。それは、一度見たスキルを強化ポイントを消費してコピーし、さらに強化した上で自身が使用できるという能力だった。リリィの剣術スキル『斬竜閃』をラーニングし、強化版の『虹帝斬竜閃』を放つことで、上級ドラゴンを跡形もなく消滅させる。そしてついに、伝説の剣「燐光竜帝剣(レファイド)」を手に入れた。

第3章 さらなる躍進

章全体のあらすじ

伝説の剣を手に入れたレインは、ギルド「青の水晶」のエースとして次々に高難度クエストをこなし、ギルドのランクアップに大きく貢献する。その目覚ましい活躍は大陸中に知れ渡り、最強ギルド「霸王竜の翼」やウラリス王国から勇者としてスカウトされるが、レインは「青の水晶」での仲間との絆を大切に、すべての誘いを断る。一方、レインを追放した「王獣の牙」は冒険者の大量離脱が止まらず、「ビッグ5」からの除外勧告を受けるまでに没落。逆恨みしたギルドマスターのバリオスはレインの暗殺を企てるが、幹部たちは彼を見限り、ギルドは崩壊の一途を辿る。レインは仲間たちの装備も強化し、ギルド全体で成長していく新しい日々を歩み始める。

この章の新しい登場人物

- ラス：冒険者ギルド「青の水晶」に所属する14歳の剣士。レインに憧れている。
- メアリ：「青の水晶」の受付嬢で、ニーナの同僚。

1 メンバーの大量離脱が始まる《追放者SIDE》

レインを追放してからわずか数週間で、「王獣の牙」は所属冒険者が半数近くにまで激減するという深刻な事態に陥っていた。ギルドマスターのバリオスをはじめとする幹部たちは、急激なギルド崩壊を前にパニック状態となる。そこへギルド連盟の職員が訪れ、現状を問題視し、「ビッグ5」の認定を取り消す可能性を示唆される。

2 一週間後

伝説の剣を手に入れたレインは、「青の水晶」のエースとして活躍していた。高難易度の討伐クエストを次々と達成し、ギルドのランクアップに貢献する。先輩冒険者のバーナードや、後輩のラス、受付嬢のニーナなど、ギルドの仲間たちとの関係も良好で、ギルド全体が活気に満ち溢れていた。

3 続々とスカウトされる

レインの活躍は大陸中に広まり、ついに「ビッグ5」の一つである「霸王竜の翼」のギルドマスターが直々にスカウトに訪れる。しかし、レインは報酬や規模よりも「青の水晶」の居心地の良さを理由に、その申し出を丁重に断る。さらにその数時間後、今度はウラリス王国から「勇者の後継者」として国に所属するよう使者が訪れる。

4 勇者として招待

ウラリス王国の使者は、レインを国の広告塔として迎え入れようと、金や名誉で勧誘する。しかし、レインが「青の水晶」を侮辱するような使者の態度に反発していると、元ウラリスの宮廷魔術師であったバーナードが割って入り、使者を追い返す。レインはバーナードの過去を知り驚くが、彼は今の冒険者としての生き方に満足していると語る。

5 受付嬢ニーナ

レインはクエストを終え、いつものように受付嬢のニーナに報告する。同僚のメアリは二人の仲の良さをからかい、食事に誘うようレインに勧める。メアリの援護射撃でニーナは顔を赤くするが、恋愛に鈍いレインはそのやり取りの意味を理解できないでいた。

6 幹部たちの衝突《追放者SIDE》

「ビッグ5」からの除外勧告を受け、怒りと絶望に我を忘れた「王獣の牙」のギルドマスター、バリオスは、すべての元凶であるレインの暗殺を決意し、刺客を手配する。その常軌を逸した行動に、3人の副ギルドマスターたちはバリオスを見限り、ギルドからの離脱を密かに決める。

7 俺とみんなの強化

レインは伝説の剣『燐光竜帝剣(レファイド)』と強化した探知機を駆使して、A級モンスターを瞬殺する日々を送っていた。討伐で得た「強化ポイント」の半分は、ギルドの仲間たちの武器や防具の強化に使い、ギルド全体の戦力向上に貢献していた。仲間から感謝されることに、レインは大きなやりがいを感じていた。

第4章 最強への道を駆け上がる

章全体のあらすじ

ギルド「青の水晶」の財政難を知ったレインは、ギルドに貢献するため冒険者ランクを上げることを決意する。ランキング更新でD級からB級へ一気に昇格したレインは、さらなる高みを目指しA級昇格クエスト「中級魔族討伐」に挑む。クエストの場でS級冒険者リリィの後輩マーガレットと出会ったレインは、自身の強化された装備の力で中級魔族を圧倒し、見事A級冒険者となる。A級になったレインは高難易度のクエストを次々とこなし、得た強化ポイントで仲間たちの装備も強化することで、ギルド全体の発展に大きく貢献していく。一方、レインを追放したギルド「王獣の牙」は衰退の一途を辿り、逆恨みしたギルドマスターのバリオスはレインの暗殺を計画。その情報を掴んだ副ギルドマスターたちはバリオスを見限り、レインに警告しに来るが、ギルドへの復帰は断固として断られる。

この章の新しい登場人物

- マーガレット・エルス：大陸最強ギルド『皇帝の盾』に所属するツインテールの少女剣士。リリィの後輩で、レインをライバル視する。
- 中級魔族：A級昇格クエストの討伐対象。ヤギのような頭とコウモリのような翼を持つ悪魔的な外見で、強力な衝撃波を放つ。

1 食堂にて

ギルドの食堂で受付嬢のニーナと昼食をとっていたレインは、厨房の設備が古く、ギルドの財政が苦しいことを知る。お世話になっているギルドのために、自分をもっと活躍して貢献しようと決意する。

2 冒険者ランク

レインは実績を積んで冒険者ランクを上げることをニーナに語る。翌日、ギルド連盟によるランキング更新が発表され、レインはD級からB級へと二段階の特進を果たし、一流冒険者の仲間入りをする。

3 上を目指して

ギルドマスターのエルシーから、A級以上への昇格には実績に加えてギルド連盟が認定する「昇格クエスト」をクリアする必要があると聞いたレインは、すぐ受注できる「中級魔族討伐」クエストへの参加を即決する。

4 A級昇格クエスト

クエストの地である南部地方の台地で、レインはS級冒険者のリリィ・フラムベルと再会する。彼女は、同じクエストに参加する後輩の少女剣士マーガレット・エルスの付き添いで来ていた。

5 副ギルドマスターたちにも見放される《追放者SIDE》

冒険者の離脱が止まらず崩壊寸前のギルド「王獣の牙」で、ギルドマスターのバリオスはレインへの憎しみ

を募らせ、「暗殺者ギルド」にレインの殺害を依頼する。その常軌を逸した行動を知った三人の副ギルドマスターたちはバリオスを見限り、レインに警告して恩を売ろうと画策する。

6 A級昇格クエスト開始

中級魔族が出現し、マーガレットをはじめとする冒険者たちが挑むが、魔族が放った強力な衝撃波によって全員まとめて吹き飛ばされてしまう。

7 A級昇格クエストで無双

レインは+10000まで強化した布の服で魔族の攻撃をすべて無傷で受けきり、伝説級の剣『燐光竜帝剣(レファイド)』の一振りで発生させた衝撃波で、中級魔族を跡形もなく消滅させる。その圧倒的な力で、A級昇格クエストをクリアする。

8 祝福

ギルドに戻ったレインは、ニーナやバーナード、エルシーをはじめとする仲間たちからA級昇格を盛大に祝福される。一週間後、正式にA級冒険者となり、さらなる高みであるS級を目指すことを誓う。

9 周囲の感謝

A級になったレインは高難易度のクエストを次々と達成し、そこで得た強化ポイントの半分をギルドの仲間たちの武器や防具の強化に使う。その結果、ギルド全体のクエスト達成率は倍以上になり、仲間たちから深く感謝される。

10 突然の訪問

レインの元を「王獣の牙」の副ギルドマスター三人が訪ねてくる。彼らは、ギルドマスターのバリオスがレインの暗殺を企てていることを警告する。

11 今さら戻ってくれと言われても、もう遅い

副ギルドマスターたちは、暗殺の警告と共にレインに「王獣の牙」への復帰を懇願する。しかしレインは、現在のギルド「青の水晶」への忠誠を示し、その申し出をきっぱりと断るのだった。

第5章 付与魔術師と暗殺者

章全体のあらすじ

「王獣の牙」のギルドマスター、バリオスに雇われた暗殺者の少女ミラベルがレインを襲撃する。しかし、レインは+10000に強化した加護アイテムで攻撃を完全に防ぎ、逆にミラベルを捕らえることに成功する。ミラベルはレインに協力し、バリオスが暗殺の依頼主であることを証言。その結果、バリオスは逮捕され投獄される。暗殺者を廃業したミラベルは、冒険者として「青の水晶」に加入し、レインの新たな仲間となる。平穏な日々が戻ったかと思われた矢先、レインの持つ伝説の剣『燐光竜帝剣』が、遠くにいるリリィの剣と共鳴するように、突如としてまばゆい光を放ち始める。

この章の新しい登場人物

- ミラベル: 暗殺者の里出身の美少女。バリオスの依頼でレインを暗殺しようとするが失敗。後に暗殺者を廃業し、冒険者として「青の水晶」に所属する。
- ブリジット: ギルド「青の水晶」に所属するC級の女剣士。ギルド内での序列はレイン、バーナードに次ぐ三位。

1 週末のデート

ニーナを家まで送り届ける道中、レインは暗殺者の襲撃を受ける。首筋をナイフで斬られるが、+10000に強化した加護アイテム『守護の宝石』を身につけていたため、攻撃は完全に防がれ無傷だった。

2 暗殺者

レインはニーナを安全な場所へ逃がし、暗殺者と対峙する。気配を消して繰り出される攻撃をすべて防ぎきったレインは、+10000に強化した『魔法の捕縛ロープ』を使い、暗殺者を捕らえる。その正体は、ニーナと同年代の美しい少女だった。

3 ミラベル

暗殺者の少女ミラベルは、捕まると知るや否や態度を豹変させ、依頼主が「王獣の牙」のギルドマスター、バリオスであることをあっさり和白状する。レインは彼女の証言を得て、バリオスを法の下で裁くことを決意する。

4 バリオス、捕らえられる1《追放者SIDE》

暗殺者からの連絡がなく焦るバリオスの元に憲兵が現れる。レイン暗殺未遂の容疑で、バリオスは王都へと連行されることになった。

5 バリオス、捕らえられる2《追放者SIDE》

王都に護送されたバリオスは国王の前で潔白を主張するが、暗殺者ミラベルの証言や状況証拠が決定打となり、投獄される。彼は全ての元凶をレインのせいだと、牢の中で憎しみを募らせる。

6 暗殺者と冒険者

依頼主を裏切ったことで暗殺者ギルドにいられなくなったミラベルが、冒険者として「青の水晶」に加入する。レインは驚きつつも、彼女を新たな仲間として受け入れる。

7 共鳴

ギルドの仲間と話していたレインの腰にあった伝説の剣『燐光竜帝剣』が、突如としてまばゆい光を放ち始める。時を同じくして、遠く離れた場所にいるS級冒険者リリィの持つ伝説の剣『紅鳳の剣』もまた、共鳴するように輝きだしていた。

第6章 伝説級の剣、集う

章全体のあらすじ

伝説の剣が共鳴したのは、古の最強竜「光竜王ディグ・ファ・ローゼ」復活の予兆だった。光竜王を再封印するため、ウラリス王国の勇者候補マルチナが、伝説の剣『燐光竜帝剣』の所持者であるレインの元を訪れる。レイン、ミラベル、マルチナの三人は、三本目の伝説の剣『紅鳳の剣』の持ち主であるリリィと合流すべく、大陸最強ギルド『皇帝の盾』へと向かう。事情を知ったリリィも同行を決意し、さらに彼女を慕う後輩マーガレットも加わる。一行は、光竜王封印のための作戦会議を行うべく、ウラリス王国を目指すことになる。一方、職を失った「王獣の牙」の元副ギルドマスターたちは、再就職に苦戦し、路頭に迷う寸前まで追い込まれていた。

この章の新しい登場人物

- マルチナ：ウラリス王国から来た勇者候補の女性騎士。伝説の剣『蒼天牙(ファイザ)』の所持者で、古の勇者の直系の子孫。
- 光竜王ディグ・ファ・ローゼ：古代に世界の八割を滅ぼしたとされる史上最凶のドラゴン。三本の伝説の剣によって封印されているが、復活の兆しを見せている。
- マイゼル・ゾールライバー：ギルド『皇帝の盾』に所属するS級冒険者。ギルドのエースであるリリィを一方的にライバル視しており、彼女が高く評価するレインに突っかかってくる。

1 訪問者マルチナ

レインたちが所属するギルド「青の水晶」に、伝説の剣『蒼天牙』を持つウラリス王国の女性騎士マルチナ

が現れる。彼女は、レインの持つ剣との共鳴現象が、世界を脅かす「大いなる敵」の目覚めの前兆だと語る。

2 大いなる敵

マルチナは、「大いなる敵」が古の最強竜「光竜王ディグ・ファ・ローゼ」であること、そしてレインの持つ『燐光竜帝剣』を含む三本の伝説の剣で封印されていることを明かす。彼女は、残る一本の封印の剣『紅鳳の剣』を探しに来たという。

3 三本の伝説の剣

レインは、『紅鳳の剣』がS級冒険者リリィ・フラムベルの剣であることを知っていた。マルチナはリリィの元への案内をレインに依頼し、光竜王を再封印するという勇者候補としての使命を語る。さらに、ミラベルの持つ暗殺能力にも目をつけ、協力を求める。

4 『皇帝の盾』へ

世界の危機を救うため、レインは光竜王との戦いを快諾する。ミラベル、マルチナと共に、リリィがいるギルド『皇帝の盾』へ向かうことを決意し、ニーナやギルドの仲間たちにしばしの別れを告げる。

5 仲間の武器を強化する

『皇帝の盾』へ向かう馬車の中で、レインはマルチナの剣とミラベルの武器を、他人への付与上限である+300まで強化する。マルチナは、レイン自身の剣の強化上限を正確に調べるため、後でウラリス王国一番の鑑定術師に会うことを提案する。

6 大陸最強ギルド

『皇帝の盾』に到着した一行は、ギルドマスターに歓迎される。しかし、リリィを一時的にライバル視するギルド所属のS級冒険者マイゼルに「リリィが認める冒険者」として目をつけられ、絡まれてしまう。

7 護身用アイテム

マイゼルに襲われたレインは、強化した加護アイテムで攻撃を無効化し、+100に強化した『麻痺の短杖』で彼を傷つけずに無力化する。その後、クエストから戻ったりリィ、そしてA級に昇格していたマーガレットと無事に再会を果たす。

8 副ギルドマスターたち、路頭に迷う寸前《追放者SIDE》

「王獣の牙」を見限った元副ギルドマスターたちは再就職活動を行うが、「ギルドを落ちぶれさせた張本人たち」という悪評が広まっており、どのギルドからも門前払いを食らって困窮していく。

9 ウラリス王国へ

リリィは光竜王封印の旅への同行を快諾する。彼女を強く尊敬する後輩のマーガレットも同行を申し出て許可される。こうして、レイン、ミラベル、マルチナ、リリィ、マーガレットの五人で、まずは作戦拠点となるウラリス王国へ向かうことが決まった。

第7章 光竜王封印戦

章全体のあらすじ

レイン一行は光竜王を再封印するため、ウラリス王国へ向かう。道中、レインは自身の付与魔術の特性（他者への付与上限が+300であることなど）を仲間たちに説明する。ウラリス王国に到着後、女王に謁見するが、大臣に化けていた光竜王の配下ガージェスに襲撃される。レインは新たに会得した付与魔術第二術式でガージェスを瞬殺し、その圧倒的な力を見せつける。その後、剣の鑑定士アルベルトによって、レインの剣『燐光竜帝剣』が神造級レベルに強化されていること、さらに強化ポイントの上限が+20000であることが判

明する。一行は最初の目的地である『光翼の遺跡』へ向かう。一方、仮釈放されたバリオスは、金目の物がすべて持ち去られ荒廃したギルドの惨状を目の当たりにし、絶望する。章の最後には、封印が緩み始めた光竜王が目覚め、配下の七竜騎に封印の破壊を命じる場面が描かれる。

この章の新しい登場人物

- **ウラリスの女王**: マルチナが仕えるウラリス王国の気品ある女性君主。
- **ガージェス**: 光竜王の配下である竜族。大臣に化けて王城に潜入していたが、レインに倒される。
- **アルベルト**: ウラリス王国の宮廷付き鑑定術師。武器や防具の鑑定に特化しており、レインの剣の規格外な性能を見抜く。
- **七竜騎**: 光竜王に仕える7体の最強の腹心たち。

1 捕らわれのバリオス、屈辱を受ける《追放者SIDE》

投獄されたバリオスは、元ギルドメンバーに嘲笑される。さらに、レインが勇者候補としてもてはやされていることを看守たちの会話から知り、屈辱と怒りを募らせる。

2 付与魔術について考察する

ウラリス王国へ向かう馬車の中で、レインは自身の付与魔術が他者には+300までしか効果がないことや、自分の持ち物が他者の手に渡ると強化値が下がることなどを仲間に説明する。

3 ウラリス王国到着

ウラリス王国に到着した一行は女王に謁見する。光竜王を再封印するため、二つの遺跡を巡る作戦の概要を聞くが、その場にいた大臣の一人が光竜王の配下だと正体を現す。

4 蒼天牙

大臣に化けていた竜族ガージェスが襲いかかってくる。マルチナが自身の伝説級の剣『蒼天牙』の能力でブレス攻撃を無効化するも、竜の姿に戻ろうとするガージェスに苦戦を強いられる。

5 俺の無双ターン

レインは、王城への被害を抑えるため予備のナイフでガージェスを城外へ吹き飛ばす。飛行魔法で追撃したマルチナが窮地に陥ったところを、付与魔術第二術式で強化したスキル『虹帝斬竜閃』によってガージェスを瞬殺し、仲間と王国関係者を驚愕させる。

6 『王獣の牙』、すでに末期状態《追放者SIDE》

仮釈放されたバリオスがギルドに戻ると、建物は荒らされ、金目の物はすべて持ち去られていた。誰もいなくなったギルドの惨状に、バリオスは崩れ落ちる。

7 封印作戦会議

ガージェス撃破後、光竜王の封印を急ぐため作戦会議が開かれる。最初の目的地は、リリィが剣を手に入れた『光翼の遺跡』に決まる。出発前に、レインは剣の性能を詳しく鑑定してもらうことになった。

8 剣を鑑定してもらう

武器庫で宮廷鑑定術師アルベルトに剣を鑑定してもらう。レインが付与魔術で+10000の強化を施した『燐光竜帝剣』は、伝説級を超えて神造武器レベルに達しているとアルベルトを驚愕させる。

9 チートの由来

アルベルトの鑑定により、『燐光竜帝剣』は+20000までの強化に耐えられることが判明する。レインの規格外の力について、ギルドを追放された際の絶望や怒りが能力開花のトリガーになったのではないか、という仮説が立てられる。

10 『光翼の遺跡』へ

レインは剣を+20000に強化し、一行は『光翼の遺跡』へ出発する。リリィが以前通ったルートとは別の場所に封印装置がある可能性が示唆される。

11 目覚める竜王《光竜王SIDE》

封印が緩み、光竜王が永い眠りから目覚める。腹心である七竜騎に、自身を完全に解放するため残りの封印装置を破壊しよう命じる。

第8章 光翼の遺跡

章全体のあらすじ

『光翼の遺跡』に到着したレイン一行は、内部の探索を開始する。レインはアルベルトの鑑定結果を元に『燐光竜帝剣』の強化ポイントの振り分けを調整し、衝撃波を出さずに敵を殲滅する新たな戦い方を披露する。道中、光竜王の腹心である七竜騎のライエルとレドグフに遭遇。ライエルの策でレインは仲間たちから引き離されてしまうが、身体強化系のスキルをラーニング・強化することでライエルを撃破する。一方、残されたリリィたちは竜の姿になったレドグフに苦戦するが、駆けつけたレインが新たに覚醒した付与魔術第三術式を使い、圧倒的な力でレドグフを倒す。無事に遺跡最深部へ到達し、安全ルートを確認した一行は、一旦それぞれの拠点へ戻ることになる。ギルド『青の水晶』に戻ったレインは、受付嬢のニーナと再会する。

この章の新しい登場人物

- ライエル：七竜騎の一人。きらびやかな鎧をまとった青年騎士の姿をしている。超高速移動スキルを使い、レインを仲間から引き離す。
- レドグフ：七竜騎の一人。竜の頭と人の体を持つ竜人の姿をしている。竜の牙から不死の兵士「竜牙兵」を生み出す能力を持つ。

1 燐光竜帝剣・新型強化付与

『光翼の遺跡』にて、レインは剣の特殊効果ごとに強化ポイントを振り分けられるように設定を変更する。【衝撃波】の強化を解き、周囲への被害を抑えつつ戦闘力を維持する方法を試す。

2 一対多数でも無双する

強化オークの群れに対し、レインはマルチナのスキルをラーニング・強化した新技【乱れ斬り・万刃乱舞】を放ち、遺跡を破壊することなく敵を一瞬で殲滅する。

3 三本の剣について

レインは、アルベルトに鑑定してもらった三本の伝説級の剣の特殊効果と、それに応じた強化ポイントの割り振りを仲間たちに説明する。

4 バリオス、あからさまに怪しい誘いに乗ってしまう《追放者SIDE》

荒廃したギルドで絶望するバリオスの元に、ギルドの再建人を名乗る妖艶な美女イルジナが現れる。ワラにもすぎる思いのバリオスは、その怪しい誘いに乗ってしまう。

5 七竜騎

遺跡の奥で、七竜騎のライエルとレドグフに遭遇。ライエルは超高速移動スキルを使い、レインだけを仲間たちから引き離す作戦を実行する。

6 聖騎士と勇者候補1

レイン不在の中、リリィ、マルチナ、マーガレットの三人はレドグフと対峙することを決意。リリィとマル

チナが前衛、マーガレットが後方支援という布陣で戦いに臨む。

7 聖騎士と勇者候補2

リリィとマルチナは連携攻撃でレドグフを追い詰めるが、レドグフが本来の竜の姿『竜体』になると形勢が逆転。圧倒的なパワーに苦戦し、リリィはレインの助けを心の中で願う。

8 脱出方法

一方、ライエルに拘束されていたレインは、身体強化スキルをラーニングして強化するという打開策を思いつく。強化されたスキル【フィジカル・フルブースト】で拘束を破る。

9 強化して超戦士に

ライエルは竜体となり、スピードに特化した形態でレインを翻弄する。しかし、レインは反応速度と動体視力を強化するスキルを複数組み合わせることでライエルの動きを捉え、一撃で倒す。

10 合流

レインは急いで仲間たちの元へ戻り、苦戦していたリリィたちと合流する。リリィとミラベルに抱きつかれ、戸惑いつつも彼女たちの無事を喜ぶ。

11 巨竜との決戦

レドグフは不死の兵士「竜牙兵」を召喚してレインを足止めしようとする。その戦闘の最中、レインの付与魔術がレベル3にアップし、新たな力である第三術式が覚醒する。

12 付与魔術、第三の術式

レインは大量の強化ポイントを消費し、第三術式を発動。過去に見た全ての武器を具現化・強化して一斉射撃するという圧倒的な攻撃で、竜牙兵ごとレドグフを跡形もなく消滅させる。

13 最深部到着

敵を倒した一行は遺跡の最深部に到達し、封印装置までの安全ルートを確認する。仲間たちと互いの健闘を称え合い、再会を約束する。

14 そして、俺は今日も冒険者として

光竜王封印作戦は一旦小休止となり、レインはギルド『青の水晶』へ帰還。受付嬢のニーナに温かく迎えられ、しばらくはギルドの冒険者として活動することを決める。

第9章 青の水晶

章全体のあらすじ

ギルド『青の水晶』に戻ったレインは、強化ポイントを稼ぐため精力的にクエストをこなす。受付嬢のニーナと食事に行くなど、日常を取り戻す。そんな中、伝説級の剣『翠風の爪』を持つ第四の剣士ヴィクターと出会う。彼は極度の方向音痴ながら、剣の共鳴に導かれてレインの元へやってきた。一方、バリオスはギルド再建人イルジナに言われるがまま資金を注ぎ込み、彼女に完全に騙されていることに気づいていない。レインは、クエスト効率を上げるためにモンスター探知機を購入し、強化ポイントを付与して高性能化させる。その探知機をギルドの仲間にも貸し出すことで、ギルド全体の討伐効率が向上する。後輩の少年剣士ラスの剣を新調するため訪れた武器店で、レインは古びたナイフに触れ、自身と同じ『天の遺産』を持つ者からのメッセージを受け取る。それは「星の心臓」と呼ばれる場所へ来てほしいという謎めいたものだった。

この章の新しい登場人物

- イルジナ：ギルドの再建人を名乗る妖艶な美女。落ちぶれたバリオスに近づき、色香で惑わせなが

らギルドの資金を吸い上げている。

- ヴィクター：第四の伝説級の剣『翠風の爪(ローゼリア)』の持ち主である中年剣士。凄まじい方向音痴。

1 バリオス、ギルドを再建しようとして泥沼にはまる《追放者SIDE》

バリオスはギルド再建人イルジナの甘言と色香に惑わされ、言われるがままに追加資金を渡し続けている。彼女に騙されていることに全く気づいていない。

2 ニーナと夕食デート

ギルドに戻ったレインは、消費した強化ポイントを補充するためクエストに励む。ギルドマスターのエルシーの後押しもあり、仕事終わりのニーナを食事に誘う。

3 訪問者

翌日、ギルドで先輩冒険者のバーナードとブリジットにウラリス王国での活躍を称賛される。クエストを受けようとしたその時、レインの剣『燐光竜帝剣』が何かに共鳴し、一人の黒ずくめの中年剣士が現れる。

4 第四の剣士1

中年剣士はヴィクターと名乗り、彼の持つ剣『翠風の爪(ローゼリア)』がレインの剣と共鳴していることを告げる。彼は凄まじい方向音痴で、剣に導かれながらも世界中を迷った末にようやくたどり着いたのだった。

5 第四の剣士2

ギルドの喫茶店で話すうち、ヴィクターの剣も竜に関係する可能性があることがわかる。ヴィクターは剣の鑑定を依頼するため、しばらくこの町に滞在するという。レインは彼を見送るが、早速道を間違えるヴィクターに呆れる。

6 探知機1

レインは魔導通信でマルチナに第四の剣について相談するが、詳細は不明だった。その後ギルドで、他の冒険者が持つ「Monster探知機」の存在を知り、クエスト効率化の可能性に興味を惹かれる。

7 探知機2

レインは町中の道具店で旧式のMonster探知機を購入し、強化ポイントを付与する。すると、探知機はMonsterの位置や数、種族名などを詳細に表示する超高性能な装置に進化する。

8 討伐効率化

探知機の情報をもとにブラックオークの討伐依頼を受けたレインは、いとも簡単にクエストを達成する。その後一週間、探知機のおかげで普段の三倍近いペースでクエストをこなし、強化ポイントを順調に補充する。

9 ラス

レインの活躍と、彼が探知機を独り占めせず他の冒険者にも貸し出していることに、後輩の少年剣士ラスは感銘を受け、憧れを一層強くする。

10 未来ある若者

レインはラスの剣が折れる寸前であることに気づく。バーナードも交え、センスは良いが装備に無頓着なラスを諭し、新しい剣を買いに付き合うことを提案する。

11 武器店にて

武器店でラスの新しい剣に強化ポイントを付与したレインは、店の隅にあった古びたナイフに目を留める。ナイフに触れると、紋章が浮かび上がり、声が聞こえてくる。

12 星の心臓

ナイフから聞こえた声は、レインが持つ力を『天の遺産(レリクス)』と呼び、同じ力を持つ過去の人物からのメッセージを伝える。そのメッセージは、世界の中心点である『星の心臓』を訪れてほしいというものだった。

第10章 天の遺産

章全体のあらすじ

ヴィクターを探すレインは、ギルドの受付嬢ニーナ、メアリとカフェで過ごす。そこへ光竜王の配下である七竜騎のゴーゼスとボルンが襲来。ギルドの仲間たちや、偶然（道に迷って）現れたヴィクターの協力もあり、七竜騎を撃退する。戦いの後、レインとヴィクターの剣が共鳴し、『天の遺産』を示す紋章と謎の地図を映し出す。その後、ウラリス王国から光竜王との最終作戦への召集がかかる。一方、封印されている光竜王のもとには、『天の遺産』を持つ謎の女二人組、ディータとシリルが現れ、協力を申し出る。

この章の新しい登場人物

- ゴーゼス：七竜騎の一人。翼竜の姿に変身する。
- ボルン：七竜騎の一人。陸竜の姿に変身し、強力な防御壁『竜鱗壁』を使う。
- ディータ：光竜王の元に現れた謎の美女。『破壊』の『天の遺産』を持つ。
- シリル：ディータと共に現れた謎の美少女。『移動』の『天の遺産』を持つ。

1 昼下がり

ヴィクターを探すレインは、宿屋で彼が戻っていないことを知る。途中でギルドの受付嬢ニーナとメアリに会い、一緒にカフェへ行くことになる。

2 バリオス、うかつにもギルドの権利書を手放す《追放者SIDE》

ギルド再建人イルジナに心酔しているバリオスは、吸収合併の手續きに必要だという彼女の言葉を信じ、ギルドの権利書を渡してしまう。

3 メガ盛りパフェ

カフェで巨大な「メガ盛りパフェ」を楽しむレインたち。ニーナはメアリに促され、恥ずかしがりながらもレインにパフェを「あーん」して食べさせる。

4 あーん、の後に

和やかな雰囲気の中、突如として街に光の流星が落下する。光の中から光竜王の配下である七竜騎のゴーゼスとボルンが現れ、レインに襲いかかる。

5 七竜騎ふたたび

ゴーゼスとボルンは竜の姿に変身し、ゴーゼスは無数の分身体を生み出してレインを追い詰める。絶体絶命のピンチに、ギルドの仲間であるバーナード、ブリジット、ラス、ミラベルが駆けつけ応戦する。

6 総力戦

ギルドの仲間たちが分身体を引き受けている間に、レインは本体のボルンとゴーゼスを追い詰める。強化したナイフを投擲し、ボルンを撃破する。

[7 再会](#)

残るゴーゼスと対峙する中、道に迷っていたヴィクターが偶然現れる。ヴィクターは自身の伝説の剣『翠風の爪(ローゼリア)』の力で身体能力を強化し、圧倒的なスピードでゴーゼスを瞬殺する。

[8 剣が示すもの](#)

戦いの後、レインとヴィクターの剣が強く共鳴し、空中に『天の遺産』の紋章と謎の地図を映し出す。

[9 来たる使者](#)

ヴィクターと再会できたレインは、彼に探知用の魔法道具を渡す。数日後、レインの元にウラリス王国から「光竜王との最終作戦」への参加を要請する使者が訪れる。

[10 二人の来訪者《光竜王SIDE》](#)

封印されている光竜王の元に、『天の遺産』を持つディータとシリルが現れる。彼女たちは、同じ『天の遺産』を持つレインとの戦いに協力すると申し出る。

第11章 決戦、光竜王

章全体のあらすじ

光竜王を再封印するためウラリス王国に集ったレイン一行は、『光翼の遺跡』で封印強化の儀式に臨む。しかし、それは光竜王のしもべとなっていたヴィクターの罠だった。三本の伝説の剣の力を奪われ、光竜王はついに復活を遂げる。ヴィクターを人質に取られ、さらに光竜王自身も『強化』の『天の遺産』を持つ強敵であることが判明し、一行は苦戦を強いられる。そこへ『破壊』のディータ、『移動』のシリル、そして残る三体の七竜騎も現れ、絶体絶命の窮地に陥る。しかし、戦いの最中にヴィクターが『幻惑』の『天の遺産』に覚醒。形勢は逆転し、仲間たちとの連携の末、レインは切り札である付与魔術第三術式で光竜王を撃破する。ディータとシリルは「星の心臓」という言葉を残して去り、戦いは幕を閉じる。

この章の新しい登場人物

- (この章で新たに出てきた名前のある登場人物はいません)

[1 ふたたびウラリス王国へ](#)

レインとミラベルは、光竜王との決戦に備え、伝説の剣『翠風の爪』の持ち主ヴィクターを伴ってウラリス王国を訪れる。マルチナたちと合流し、作戦会議に臨む。

[2 封印強化](#)

一行は『光翼の遺跡』の封印装置へ向かう。マルチナは、三本の伝説の剣を使い、所有者が念を込めることで封印を強化できると説明する。

[3 それぞれの剣の役割](#)

封印強化の儀式の最中、三本の剣が暴走。ヴィクターの剣『翠風の爪』が三本の剣の力を吸収し、ヴィクターは何者かに操られたように豹変する。

[4 光竜王復活](#)

剣の力を奪われたことで封印が破られ、ついに光竜王が復活する。その衝撃波で遺跡は崩壊するが、レインの防御アイテムのおかげで一行は無事だった。

[5 総力戦](#)

光竜王はヴィクターを人質として自身の額に取り込む。ヴィクターを傷つけられないため全力で攻撃できないレインたちの攻撃は、光竜王の張る謎の障壁にすべて弾かれてしまう。

6 チートVSチート1

光竜王は、自身もレインと同質の力、すなわち『天の遺産』を持つことを明かす。レインが強化した『燐光竜帝剣』による渾身の一撃すらも、光竜王の防御力の前に破損してしまう。

7 チートVSチート2

光竜王は『強化』の『天の遺産』の力で自身を強化していた。強力なドラゴンブレスを放つが、レインは強化した服と剣圧を組み合わせて、かろうじて防ぎきる。

8 チートVSチート3

戦いの最中、光竜王に取り込まれていたヴィクターが意識を取り戻す。レインは、彼が持つ『翠風の爪』を取り戻せば、形勢を逆転できる可能性があると考ええる。

9 チートVSチート4

マーガレットの風魔法で光竜王の額まで跳躍したレインは、仲間たちの援護を受けながら、強化したナイフでヴィクターの救出を試みる。

10 チートVSチート5

レインはヴィクターの救出に成功。しかしその直後、『破壊』のディータと『移動』のシリルと名乗る二人の女が現れる。

11 ディータとシリル

ディータは『万物破壊』の力でレインの強化した加護アイテムを破壊する。レインは、彼女たちが自分と同じ『天の遺産』持ちであり、今までの敵とはレベルが違うことを悟る。

12 『天の遺産』攻略戦1

ディータの圧倒的な破壊力と、シリルの瞬間移動能力による攪乱に、レインたちは苦戦する。さらに、残っていた三体の七竜騎も現れ、戦況は絶望的となる。

13 『天の遺産』攻略戦2

七竜騎たちは竜の姿に変身し、ドラゴンブレスで攻撃する。レインはアイテムがダメージを受けているため、押し切られる可能性を感じるが、仲間との連携で反撃の機会を窺う。

14 混戦

仲間たちが連携して光竜王にダメージを蓄積させていくが、やはり『天の遺産』使いが三人いる敵の布陣は強力で、押し切れそうになる。その時、ヴィクターの持つ『翠風の爪』がまばゆい輝きを放ち始める。

15 覚醒

ヴィクターが新たな力に覚醒する。彼は自ら七竜騎のブレスの的となり、消滅と再生を繰り返すことで敵の攻撃を引きつけ、その隙にマーガレットがリリィを治癒する。

16 力の正体

ヴィクターの新たな力は『再生』ではなく、実体を伴う幻覚を作り出す『幻惑』の『天の遺産』だった。彼はその力で七竜騎を一掃する。

17 最終局面

仲間が全員復帰し、ヴィクターも覚醒したことで、一行は万全の態勢で光竜王に総攻撃を仕掛ける。ヴィクターの『幻惑』による攻撃で、光竜王の装甲に大きな亀裂が入る。

18 関係VS関係

ディータとシリルが連携してヴィクターを狙うが、ヴィクターは幻覚を使って攻撃を回避する。レインは好機と判断し、最後の切り札を使うことを決意する。

19 最後の攻防

レインは仲間たちの援護を受け、付与魔術第三術式を発動。数万の武器による一斉射撃がディータの『破壊』を突き破り、光竜王を完全に消滅させる。

20 決戦の終結と始まり

光竜王を倒されたディータとシリルは、「『星の心臓』を目指す者」という謎の言葉を残して撤退する。戦いの後、レインの付与魔術はレベル4にアップし、第四術式が解放されたことが告げられる。

第12章 ひとときの日常と次なる激動

章全体のあらすじ

光竜王を撃破したレイン一行は、ウラリス王国で英雄として迎えられる。レインは勇者の称号とS級冒険者への推薦を受けることになる。仲間たちとの交流を深めた後、一行はウラリス王国を後にし、それぞれの拠点へと帰還する。ギルド『青の水晶』に戻ったレインは、受付嬢のニーナと再会し、ギルドの仲間たちとの平穏な日常を取り戻す。一方、ギルドを乗っ取られたバリオスは、ついにその事実を知り絶望する。光竜王との戦いを終えたレインだったが、その心には新たな目標が芽生え始めていた。

この章の新しい登場人物

- (この章で新たに出てきた名前のある登場人物はいません)

1 マルチナと勇者の称号1

光竜王を倒したことで、マルチナはレインこそが真の勇者だと認める。彼女は自分が目指す「勇者」がウラリス王国認定の名誉職であることを説明する。

2 マルチナと勇者の称号2

勇者の称号に複雑な心境のレインに、マルチナは模擬戦を申し込む。レインは加減した一撃で彼女を吹き飛ばしてしまうが、これをきっかけにレインの加護アイテムを模擬戦で活用するアイデアが生まれる。

3 敬意と感謝

ウラリス王国の内務大臣から、レインに勇者の称号が授与されることが正式に告げられる。さらに、冒険者ギルドからS級認定の話が出ていることも知らされる。

4 マーガレットの宣言

王都で会ったマーガレットは、S級に推薦されたレインとの差を痛感しつつも、いつか彼に勝ち、リリィの一番の相棒になると宣言する。レインは彼女を素直に応援し、二人の間には仲間としての絆が芽生える。

5 ミラベルの重大事態？

露店で人気のサンドイッチを食べていたミラベルは、光竜王討伐の報酬が少なかったとレインに不満を訴え、報酬の分け前を要求する。

6 ミラベルの目指すもの

レインと出会ったことで心境の変化があったミラベルは、暗殺者を辞め、冒険者として「がっぼがっぼ稼ぎたい」と語る。

7 ギルド『王獣の牙』その末路1《追放者SIDE》

イルジナが権利書を持って戻ってこないことにバリオスは苛立ちを募らせる。数日後、ギルド『王獣の牙』が丸ごと売却されてしまったという報告を受け、彼は愕然とする。

8 ギルド『王獣の牙』その末路2《追放者SIDE》

売却先のギルド『雷獣団』に乗り込んだバリオスは、そのギルドマスターに媚びるイルジナの姿を目撃する。権利書を騙し取られたことを訴えるが、証拠がなく、法廷で争うよう突き放され、その場に崩れ落ちる。

9 リリィとの、とある日常

王都の服飾店でリリィと会ったレインは、彼女の買い物に付き合う。普段の凛々しい姿とは違う、年頃の少女らしい一面を見て新鮮を感じる。お礼として、彼女が気に入ったペンダントをプレゼントする。

10 さらばウラリス王国

レイン、リリィ、マーガレット、ミラベルは、マルチナに見送られウラリス王国を出立する。道に迷ったまま戻らないヴィクターを案じつつ、それぞれの拠点へと帰還する。

11 ニーナとの再会と未来

ギルド『青の水晶』に戻ったレインは、ニーナと再会する。彼女の涙ながらの歓迎を受け、お土産のペンダントを渡す。レインは、追放された過去の怒りよりも、現在のギルドへの愛着と貢献したいという気持ちが強くなっていることに気づく。

第13章 『天の遺産』を巡る戦い

章全体のあらすじ

レインは『天の遺産』を持つ者たちが集う氷の城の夢を見る。その夢に導かれるように、自身の力のルーツを探る旅に出ることを決意。その決意は受付嬢ニーナとのすれ違いを生み、彼女からの突然の告白へと繋がる。戸惑いつつも旅立ちを決めたレインの元に、バーナード、ラス、そして新メンバーのローザが同行を申し出る。ローザの探索魔法でヴィクターのいる方角を突き止め、一行は旅を開始する。一方、夢で見た『天の遺産』の所持者たちは、レインの動向を警戒しつつも、『星の心臓』を巡って互いに牽制し合っていた。旅の始まりと共に、レインの脳裏には「たどり着けるのは、ただ一人」という謎の声が響き、『天の遺産』を巡る戦いの激化を予感させる。

この章の新しい登場人物

- ローザ：ギルド『青の水晶』に最近加入した女魔法使い。探索魔法を得意とする。
- ゴルドレッド：『天の遺産』を持つ者たちのリーダー格の白髪の青年。『変革』の力を持つと思われる。
- メリーアン：『天の遺産』を持つ者の一人。『探査』の力を持つ女性。
- ジグ：『天の遺産』を持つ者の一人。『停止』の力を持つ美少年。
- リサ：『天の遺産』を持つ者の一人。『魔弾』の力を持つ小柄な少女。

1 夢で見る風景

レインは、オーロラのかかる氷の城に集う『天の遺産』の所持者たちと、「待っています」と呼びかける謎の声の夢を見る。その光景に強く惹かれ、その場所へ行かなければならないという本能的な衝動に駆られる。

2 出立と告白1

レインはニーナに夢の話をし、自身の力のルーツを探るために旅に出ることを告げる。

3 出立と告白2

レインがまた遠くへ行ってしまうことに寂しさを募らせたニーナは、「ここはレインさんの居場所になっていませんか？」と問いかけ、その場を走り去ってしまう。

4 出立と告白3

ニーナを追いかけたレインは、彼女から「好きです」と告白される。突然のことに戸惑うレインを前に、ニーナは走り去ってしまう。その一部始終をミラベルが隠れて見ていた。

5 旅立ちの時々

ミラベルにからかわれつつ、レインは旅立ちの決意を固める。まずは同じ『天の遺産』持ちであるヴィクターを探し、今後の方針を相談することにする。

6 持つべきものは仲間

ヴィクターの探し方に悩むレインの元に、バーナード、ラス、そして新メンバーの女魔法使いローザが現れ、旅への同行を申し出る。

7 『天の遺産』を持つ者たち1

オーロラの下に集う『天の遺産』の所持者たち。リーダー格のゴールドレッドはレインの動向を警戒するが、『停止』のジグや『魔弾』のりサは反発し、仲間内での緊張感が高まる。

8 『天の遺産』を持つ者たち2

『破壊』のディータと『移動』のシリルもその場にいた。ゴールドレッドはバラバラな仲間たちをまとめようとするが、各々が『星の心臓』への一番乗りを狙っており、一枚岩ではない。

9 ローザの探索魔法

ローザが探索魔法【サーチⅢ】を使い、ヴィクターがいるおおよその方角を特定する。

10 出発

一行が出発しようとしたその時、レインの脳裏に「『天の遺産』を持つ者たちの戦いは、これから始まる」「『星の心臓』にたどり着けるのは、ただ一人」という謎の声が響き、壮絶な戦いのビジョンが浮かぶ。レインは不安を振り払い、旅への一歩を踏み出す。

第14章 探索と邂逅

章全体のあらすじ

ヴィクターを探す旅に出たレイン一行は、早々に彼を発見する。しかし、ヴィクターは『天の遺産』を持つ者たちの能力によって動きを封じられていた。レインたちに襲いかかってきたのは、『停止』のジグ、『魔弾』のりサ、『防壁』のフローラの三人。ジグの『停止』能力によって、レインの力の源である『付与』を無効化され、一行は苦戦を強いられる。しかし、レインは冷静に敵の能力を見極め、仲間たちとの巧みな連携によってジグを無力化することに成功。形勢を逆転させ、フローラとりサも撃破する。戦いの後、レインとフローラの『天の遺産』が突如共鳴・暴走し、四人は謎の異空間へと飛ばされてしまう。

この章の新しい登場人物

- フローラ：『防壁』の『天の遺産』を持つ女剣士。鉄壁の防御能力と、大陸で五指に入ると自負するほどの高い剣技を兼ね備える。

1 ヴィクターを求めて

『星の心臓』を巡る戦いの予感を胸に、レインはバーナード、ラス、ミラベル、ローザと共にヴィクターを

探す旅を始める。馬車での移動中、ローザに心配されるが、仲間たちの存在を心強く感じる。その矢先、道端にたたずむヴィクターをあっさりと発見する。

2 襲撃

近づいてみると、ヴィクターはまるで彫像のように完全に動きを止めていた。仲間たちが状況を把握しようとしたその時、謎の少女の声と共に【貫通弾】と名付けられた光の球が一行を襲う。ラスがレインを守ろうと剣を抜くが、レインは落ち着いて対処しようとする。

3 新型防御アイテム

レインは『付与』で強化した風船型の防御アイテム『ソフトバルーン』で【貫通弾】を難なく弾き返す。攻撃を仕掛けてきたのは、『魔弾』の『天の遺産』を持つリサと、『停止』の『天の遺産』を持つジグだった。彼らは『星の心臓』への道を巡り、他の能力者を排除するためにレインを襲撃したことを明かす。

4 混戦

三人目の敵、『防壁』のフローラが背後から出現する。ジグの『停止』能力によってレインの剣に付与した強化が無効化され、フローラの高速の斬撃にレインは反応できない。ラスが間一髪でレインを守るが、その重い一撃に苦戦する。

5 『青の水晶』の冒険者たち

ラスはフローラの鉄壁の『防壁』に攻撃を阻まれ、反撃を受けて負傷する。フローラは自身の剣技が『天の遺産』ではない純粋な実力であることを示す。レインの『付与』がジグによって封じられている絶望的な状況の中、バーナードとミラベルも加勢し、『青の水晶』の仲間たちが一丸となって『天の遺産』使いたちに立ち向かう。

6 関係1

レインは仲間たちに指示を出し、連携作戦を開始する。ラスとミラベルがフローラを、バーナードが魔法で全体を援護し、レインはジグと対峙する。レインは強化ナイフを連続で投げつけ、ジグの『停止』能力が発動する際の動きや特性を注意深く観察し、勝機を見出す。

7 関係2

レインは、ジグの『停止』が「『付与』で強化された物体」にしか作用しないことを見抜く。強化した剣で斬りかかるふりをして、ジグが能力を発動する寸前に強化を解除。未強化の剣による斬撃はフェイントで、本命である未強化の捕縛ロープを使い、ジグの能力発動に必要な手の動きを封じること成功する。

8 関係3

ジグを無力化したことで、レインは本来の『付与』の力を取り戻す。仲間との連携でリサとフローラを追い詰め、バーナードの魔法をフローラが『防壁』で防いだ際に、ラスとミラベルが左右から猛攻を仕掛け、フローラを後退させる。

9 関係4 そして決着

仲間たちがフローラを押している間に、レインは+20000まで強化した『燐光竜帝剣』で斬りかかる。フローラの『防壁』とレインの斬撃が激しく衝突し、ついに『防壁』の一部が破壊される。仲間たちの追撃でフローラは剣を弾き飛ばされ降参。残ったリサも戦意を喪失し、一行は勝利を収める。

10 尋問

捕らえた三人に『星の心臓』の目的を尋ねるレイン。ジグは、最後に残る一人になるまで『天の遺産』持ち同士で殺し合う運命にあると語る。フローラがレインに『星の心臓』を求めるのかと問いかけた瞬間、二人の間で『天の遺産』の力が共鳴し、まばゆい光があふれ出す。

11 あふれる力

レインの『付与』とフローラの『防壁』、二つの『天の遺産』の力が干渉し、暴走を始める。力の奔流に飲み込まれ、レイン、ジグ、リサ、フローラの四人は、暗く、美しい氷原が広がる謎の異空間へと飛ばされてしまう。そこでレインは「この星の中心部、『星の心臓』へ至れるのはただ一人」という謎の声を聞く。

第15章 異空間脱出作戦

章全体のあらすじ

レインの『付与』とフローラの『防壁』の力が暴走し、生み出された異空間『強化防壁』に閉じ込められたレイン、ジグ、リサ、フローラの四人。敵対関係にあった彼らだが、脱出という共通の目的のために一時休戦し、協力することになる。レインが強化した通信機でかろうじて外部のバーナードたちと連絡を取り、内外からの同時攻撃作戦を実行。『天の遺産』の能力を巧みに連携させ、『強化防壁』を破壊し、見事脱出に成功する。短い共闘を経て、ジグたちは再戦を誓いながらもそれぞれの目的地へと去っていく。一方、リリィやマルチナ、そしてゴールドレッドたちもまた、『星の心臓』へと向けて動き出していた。

この章の新しい登場人物

- (この章で新たに出てきた名前のある登場人物はいません)

1 異空間にて

レインの『付与』とフローラの『防壁』が暴走して生まれた『強化防壁』の異空間に閉じ込められたレイン、ジグ、リサ、フローラの4人。敵同士でありながら、脱出という共通の目的のため、一時的に協力関係を結ぶことになる。

2 脱出に向けて1

能力の同時解除や、ジグの『停止』とリサの『魔弾』を組み合わせた攻撃を試みる。その結果、『強化防壁』にわずかな亀裂を入れることには成功するが、決定的なダメージには至らず、脱出の困難さを痛感する。

3 脱出に向けて2

フローラは、自身の『防壁』が内外からの同時攻撃に弱いという弱点を明かし、外部の仲間との連携を提案する。しかし、異空間の中から外部に連絡する手段がなく、一行は再び行き詰まる。

4 そのころ、『星帝の盾』で

一方、冒険者ギルド『星帝の盾』では、リリィとマーガレットが、ウラリス王国から訪れたマルチナと会っていた。マルチナは、光竜王とは別の脅威、すなわち『天の遺産』を持つ者たちの存在を語り、レインが新たな戦いに巻き込まれていることを示唆。三人はレインの力になるため、共に戦うことを決意する。

5 脱出に向けて、その3

異空間では、敵対していた者同士とは思えないほど和やかな雰囲気が出る。ジグのツンデレな一面が明らかになる中、一行は改めて脱出方法を模索する。

6 通信、そして

レインはジグが持っていた魔導通信機に『付与』を行い、性能を大幅に向上させる。強化された通信機によって、外部にいるバーナードたちとの通信に成功するが、強化の負荷に耐えきれず通信機は破損してしまう。

7 内と外からの攻撃1

通信を受け、外部のバーナードたちが『強化防壁』への攻撃を開始する。異空間の内部でも、レインは自身

の攻撃も加えた新たな連携作戦を提案し、内外からの同時攻撃に備える。

8 内と外からの攻撃2

4人の『天の遺産』の能力を連携させ、内外から同時に攻撃する作戦を決行する。ジグが『強化防壁』の再生能力を『停止』させ、その際にレインとリサが攻撃を加えるという、息の合ったコンビネーションで、ついに空間そのものにダメージを与え始める。

9 内と外からの攻撃3

四人の『天の遺産』持ちによる怒涛の連携攻撃と、外部からのバーナードたちの攻撃が重なり、ついに『強化防壁』は爆音と共に弾け飛び。一行は無事に元の場所へと脱出を果たし、仲間たちとの再会を喜ぶ。

10 『星の心臓』へ

ジグ、リサ、フローラの三人は、レインとの再戦を誓いつつも、助けられたことへの礼を述べ、それぞれの目的地へと去っていく。敵対しながらも芽生えた奇妙な連帯感から、レインは彼らと戦わずに済む道を見つきたいと願う。

11 少女たちが向かう先は

時を同じくして、リリィ、マルチナ、マーガレットは、伝説級の剣が共鳴して示した光を頼りに、『星の心臓』と思われる場所へ向かう決意を固める。一方、ゴールドレッドをはじめとする他の『天の遺産』を持つ者たちも、剣の共鳴を合図に動き出し、『星の心臓』を巡る戦いが本格的に幕を開ける。

第16章 『星の心臓』への旅路

章全体のあらすじ

『星の心臓』を目指すレイン一行の前に、次期魔王の座を狙う高位魔族ツイレドゥルゾが現れるが、レインは強化した剣でこれを瞬殺する。一方、リリィ、マーガレット、マルチナは、現魔界最強と称される高位魔族メトラムと遭遇。苦戦の末、マーガレットの奇策と、レインの技から着想を得たリリィの新技によって撃破する。伝説の剣の共鳴を頼りに合流を目指すレインたちだったが、その直前、『天の遺産』のリーダー格であるゴールドレッドの能力によって、レインは仲間と分断されてしまう。ゴールドレッドは『天の遺産』の正体を語り、自身の『変化』の能力で伝説級の魔獣・閃鳳王と魔王グランディリスを召喚してレインに襲いかかる。絶体絶命の窮地に陥ったレインの前に、謎の存在が現れ魔王を喰らう。

この章の新しい登場人物

- ツイレドゥルゾ：『星の心臓』の力を手に入れ、次期魔王になることを目論む高位魔族。
- メトラム：現魔界最強と称される高位魔族。巨大なカブトムシのような戦闘形態『魔体(アウゴエイドス)』を持つ。
- 閃鳳王ベル・ファ・ゼリル：ゴールドレッドが鳥の彫刻を形代に、『変化』の能力で生み出した伝説級の魔獣。
- グランディリス：ゴールドレッドが石板を形代に、『変化』の能力で生み出した、かつて勇者と死闘を繰り広げた伝説級の魔王。

1 『星の心臓』への旅路

『星の心臓』を目指して旅を続けるレイン一行の前に、黒衣の男、高位魔族ツイレドゥルゾが現れる。彼もまた、『星の心臓』の力を手に入れ、次期魔王になることを目指していた。

2 高位魔族

ツイレドゥルゾは、レインが『星の心臓』の正確な場所を知っていると勘違いして襲い掛かってくる。しかし、レインは強化した『燐光竜帝剣』の一振りですべてを吹き飛ばし、戦闘不能に追い込み、あつ

さり而降参させる。

3 高位魔族の影

ヴィレドゥルゾの探知魔法により、人間界には他に3体の高位魔族が来ており、その中には現魔界最強と称される魔族がいることが判明する。

4 S級とA級と勇者候補と最強魔族1

一方、レインを追うリリィ、マーガレット、マルチナの三人は、現魔界最強の魔族メトラムと遭遇する。メトラムもまた『星の心臓』を狙っており、ライバルとなりうる彼女たちを排除しようと攻撃を仕掛けてくる。

5 S級とA級と勇者候補と最強魔族2

マルチナが伝説の剣『蒼天牙』の能力でメトラムの魔力弾を吸収。メトラムは、リリィとマルチナの持つ剣が、魔界にも伝わる『王』の称号を持つ特別な剣であることを語る。リリィたちは連携してメトラムを撃破しようと試みる。

6 S級とA級と勇者候補と最強魔族3

メトラムの圧倒的な戦闘能力の前に、リリィたちは防戦一方に追い込まれる。さらにメトラムは、巨大なカブトムシのような戦闘形態『魔体』へと姿を変え、その威圧感でリリィたちを圧倒する。

7 勝負の決め手は

魔体となったメトラムの高速の突進に苦戦する中、マーガレットが敵であるメトラム自身に【加速】魔法を重ねがけするという奇策を敢行。スピードが上がりすぎたメトラムは体勢を崩し、致命的な隙が生まれる。

8 さらなる先へ

マーガレットが作った千載一遇の好機に、リリィはレインのスキル【虹帝斬竜閃】を参考に編み出した新たな必殺技【虹帝斬魔刃】を放つ。虹色の光の螺旋となった一撃は、魔族の巨体を両断する。

9 旅で得たもの

強敵を打ち破った直後、リリィとマルチナの剣が強く共鳴し、近くにレインがいることを確信する。時を同じくして、レインの持つ『燐光竜帝剣』もまた、リリィたちの存在に呼応するように脈動する。

10 合流へ

リリィたちとの合流を決めたレインは、彼女たちの剣のイラストを描き、それを手掛かりにローザに探索魔法を使ってもらう。ローザは高い精度で彼女たちのいる方角を突き止める。

11 邂逅

ローザが示した方角へ進む一行。しかし、目的地を目前にして、突然周囲の景色が一変する。レインは仲間たちと引き離され、一人で見知らぬ大理石の回廊に立たされる。そこに、白髪の青年ゴルドレッド・ブラスレイダーが現れる。

12 【変化】と【強化付与】

ゴルドレッドは、自身の『天の遺産』が周囲の地形を自在に作り変える【変化】の能力であることを明かす。彼は『天の遺産』を持つ者同士を分断し、各個撃破するつもりだった。

13 『天の遺産』についての講義

ゴルドレッドは、レインに『天の遺産』の正体を語り始める。それは、世界の根源たる『天』の力が星の中心『星の心臓』に残留したものであり、魔術やスキルとは異なる系統の力であると説明する。そして、自身

もまた追放された過去を持ち、その憎しみから力に目覚めたことを明かす。

14 勝者は一人

『星の心臓』にたどり着き、さらなる力を得られるのは最初に到着した一人だけであるとゴルドレッドは告げる。彼は、他の保持者をすべて排除し、自身が頂点に立つため、ルール無用の殺し合いをレインに宣言する。

15 ゴルドレッド

戦いの舞台を一面の荒野に『変化』させたゴルドレッドは、鳥の形をした彫刻を形代として取り出し、『天の遺産』の第三術式を発動させる。

16 閃鳳王

ゴルドレッドは、伝説級の魔獣『閃鳳王バル・ファ・ゼリル』を召喚する。レインは、空間そのものを盾にするゴルドレッドの鉄壁の防御と、光竜王と同格とされる閃鳳王を相手に、攻略の糸口を探る。

17 伝説のS級冒険者1

一方、『天の遺産』保持者たちのアジトでは、『黒天閃のヴァーミリオン』の二つ名を持つ伝説の元S級冒険者フローラが、レインの存在を高く評価し、彼の出現が事態を動かし始めたと感じていた。

18 伝説のS級冒険者2

フローラは、同じく『天の遺産』を持つディータとシリルと対峙する。三人の間には、五年前に【侵食】と呼ばれるモンスターによって滅ぼされたクリシェ王国を巡る、深い因縁があった。

19 付与魔術、第四術式について

ゴルドレッドと閃鳳王の鉄壁の防御を前に、レインは手詰まり感を覚える。光竜王を倒した際に会得したものの、発動条件が満たせず未だ使えない『第四術式』に活路を見出そうとするが、現状では使用不可能だった。

20 ゴルドレッド、攻勢

ゴルドレッドは、閃鳳王に加えて、石板を形代に伝説級の魔王グランディリスをも召喚する。伝説級の敵二体に同時に攻撃され、絶体絶命のピンチに陥ったその時、虚空から現れた黒い何かが、魔王の上半身を喰らい、消し去った。

第17章 星の運命を決める戦い

章全体のあらすじ

序盤：星の心臓を巡るレースの開幕

レインとゴルドレッドの戦いは、突如現れた謎の存在【侵食】によって中断される。【侵食】がゴルドレッドの召喚した魔王を瞬時に喰らい尽くす絶望的な状況の中、今度は「星の意志」と名乗る声が介入する。星の意志は、自らが【侵食】によって滅びかけていることを明かし、これを救うため、レインやゴルドレッドをはじめとする『天の遺産』の所持者たちを星の中心【星の心臓】へと強制的に転移させる。そこで彼らに課せられたのは、最初に最深部にたどり着いた者の願いを叶えるという「星の運命を賭けた競争（レース）」だった。

中盤：それぞれの過去と覚悟

【星の心臓】のダンジョンに転移させられた所持者たちは、仲間と散り散りになりながらも、それぞれの目的のために探索を開始する。物語は複数の視点で進行し、リサとジグが【侵食】によって未来を奪われ、

『天の遺産』に目覚めた悲劇的な過去や、しがない冒険者だったヴィクターが伝説の剣『翠風の爪』の主に選ばれた経緯、そしてバーナードがウラリス王国の宮廷魔術師の座を追われ冒険者となった若き日の失恋など、各キャラクターの背景がフラッシュバックで描かれる。彼らは仲間たちと合流し、あるいは新たな仲間を得ながら、ダンジョンの深部を目指す。

終盤：星の守護者「天星兵团」との激闘

各パーティの前に、【星の心臓】を守護する存在【天星兵团（アークレギオン）】が立ちふさがる。レインは宿敵ゴールドレッドと一時的な共闘関係を結び、連携して強力な番人を打ち破るが、その直後に裏切られる。絶体絶命の窮地に陥るレインだったが、駆けつけたリリィたちに救われる。一方、ヴィクターやバーナードのパーティも、伝説のS級冒険者フローラの助力を得て番人を退けるが、さらに強力な【天星兵团】の襲撃を受け、フローラまでもが倒されてしまう。時を同じくして、ディータとシリルもまた、王国を滅ぼした宿敵【侵食】とついに再会し、最後の戦いを挑もうとしていた。『星の心臓』を舞台に、それぞれの運命が交錯し、戦いは激化の一途をたどる。

この章の新しい登場人物

- 【侵食】：あらゆるものを喰らい、消滅させる正体不明の黒い怪物。星を滅ぼそうとしている元凶。
- 星の意志：『天の遺産』の所持者たちに語りかけ、【星の心臓】へと導く存在。
- デオルス・グレイ：ヴィクターの過去に登場した、傲慢なS級冒険者。
- マルチェロ：バーナードの過去に登場した、ウラリス王国の陰湿な内務大臣。
- エステル・グレイク：バーナードの過去に登場した、ウラリス王国の天才的な女騎士。
- 天星兵团(アークレギオン)：【星の心臓】の各階層を守護する番人たち。
- ヴェルテミス：【赤の魔導師】の階級を持つ【天星兵团】の一員。
- 緑の戦騎兵：【天星兵团】の最下級兵士。
- ファルニケ：【青の指揮官】の階級を持つ【天星兵团】の一員。
- ラゼルセイド：【紫の猛将】の階級を持つ【天星兵团】の一員。
- マーゼノオ：【紅の騎士】の階級を持つ【天星兵团】の一員。
- ナナレイア：【黄の支援術師】の階級を持つ【天星兵团】の一員。
- レシヴァル：【橙の武闘家】の階級を持つ【天星兵团】の一員。
- リツツェラ：次期魔王の座を狙う高位魔族の一人。

1【侵食】

レインとゴールドレッドの戦いの最中、突如として黒いモヤ状の怪物【侵食】が出現する。それはゴールドレッドが召喚した魔王グランディリスの上半身を一瞬で飲み込み、消滅させてしまう。ゴールドレッドは、それが太古の昔から存在し、この世界そのものを喰らい尽くそうとする最悪の怪物であると説明する。

2 三つ巴

ゴールドレッドはレインとの共闘を拒否し、自らが生き残ることを優先する。レイン、ゴールドレッド、そして【侵食】による三つ巴の睨み合いが続くが、ゴールドレッドが地形を変化させてレインの体勢を崩した際に、【侵食】がレインに襲いかかる。レインの防御アイテムは次々と破壊され、絶体絶命の窮地に陥る。

3 星の意志

レインが【侵食】に喰われる寸前、謎の声「星の意志」が介入する。星の意志は、自らを救う力ある者たちを集めるため、ここで一人も死なせるわけにはいかないと語り、七色の光で【侵食】の欠片を縮小させる。そして、最初に【星の心臓】にたどり着いた者の願いを叶える「星の運命を賭けた戦い」の開始を宣言し、その場にいた者たちを【星の心臓】へと転移させる。

4 【魔弾】と【停止】と【探査】

リサ、ジグ、そして新たに仲間になった【探査】の『天の遺産』を持つメリーアンの三人は、魔導馬車で【星の心臓】を目指していた。最終的には敵対する運命にありながらも、最深部にたどり着くまでは協力し合うことで合意する。メリーアンは、リサとジグがなぜそこまで強い絆で結ばれているのかを問い、物語はリサの過去へと遡る。

5 魔導研究所

五年前、主任研究者だったリサは、魔法技術によって生み出された人造人間「魔導人間」の研究を行っていた。その中でも実験体49号は、他の個体と異なり、人間のような繊細な感情を持っていた。リサは彼に興味を持ち、「ジグ」という名前を与える。二人の間には、次第に弟のような、友人としての絆が芽生えていった。

6 リサとジグ、運命の変遷

ある日、リサたちの魔導研究所を【侵食】の本体が襲撃する。仲間たちが次々と殺される中、ジグの助けでリサは辛くも脱出するが、逃れた先で【侵食】の残党に心臓を貫かれてしまう。死の淵にあるリサを助けたというジグの強い想いが引き金となり、彼は【停止】の『天の遺産』に覚醒する。

7 失い、なお紡ぐもの

ジグの【停止】の力でリサは一命を取り留めるが、【侵食】の呪いによって彼女の未来（生命）は少しずつ削られていくことになる。絶望の中、今度はリサが仲間を、そして自らの理不尽な運命を打ち破る力への渴望から【魔弾】の『天の遺産』に覚醒する。一方ジグも、呪いの影響で魔力のほとんどを失ってしまう。未来を失った二人は、それを取り戻すため【星の心臓】を目指すことを決意する。

8 ヴィクターと『翠風の爪』1

【星の心臓】に転移させられたヴィクターは、ローザを除く仲間たちとはぐれてしまう。自身の剣『翠風の爪』がレインの剣と共鳴しているのを感じ、それを頼りに進み始める。彼は、この不思議な剣と出会った、しがたない級冒険者だった頃を回想し始める。

9 ヴィクターと『翠風の爪』2

ヴィクターの回想。遺跡探索のクエストで、彼は傲慢なS級冒険者デオルスとパーティを組む。最深部で伝説の剣を発見するが、デオルスたちには抜けず、なぜかヴィクターだけが剣を抜くことに成功する。剣を手にする資格は自分にあると信じていたデオルスは嫉妬と憎悪に駆られ、口封じのために仲間全員を斬殺する。

10 ヴィクターと『翠風の爪』3

デオルスに追い詰められ、死を覚悟したヴィクターだったが、「人生を諦めたくない」という強い意志に剣が呼応する。剣の真の力『風をまとい超高速で移動する能力』に覚醒したヴィクターは、デオルスを圧倒し打ち破る。その後、一度は依頼主に渡されたその剣が偶然にも売りに出されているのを発見し、運命を感じて買い取ったのだった。

11 進む先で出会うもの

回想を終えたヴィクターとローザは、ダンジョンを進む中でリサ、ジグ、メリーアンの一行と遭遇する。『天の遺産』の所持者同士、願いを叶えるための競争相手として、両者の間で緊張が走る。

12 始まる真の戦い

ヴィクターはリサたち三人を相手に戦闘を開始する。自身の『天の遺産』である【幻惑】と『翠風の爪』の速度で翻弄しようとするが、未来予知にも近いメリーアンの【探査】の力によって動きを完璧に読まれ、窮地に陥る。しかしその時、新たな敵【赤の魔導師】ヴェルテミスが出現し、戦いは中断される。

13 追憶の紋章

場面はレインとゴルドレッドに切り替わる。夢から覚めたレインは、【星の心臓】に転移させられたことを認識する。彼はかつて付与魔術の修行中に、誤って自身に強化ポイントを付与した際に謎の紋章が現れたことを思い出す。それが未だ使えない『第四術式』の発動条件である『支配の紋章』ではないかと推測する。

14 最終勝者への道のり

レインはゴルドレッドと、互いを利用し合うという前提で一時的な共闘関係を結ぶ。【星の心臓】第一階層を進む二人の前に、番人である【天星兵团】の【緑の戦騎兵】たちが立ちはだかる。

15 VS緑の戦騎兵

レインはゴルドレッドの召喚した閃鳳王と魔王グランディリスと連携し、【緑の戦騎兵】を一掃する。この戦いで魔王の魔剣を見たことで、レインは自身の第三術式でその魔剣を再現・強化できるようになり、パワーアップを果たす。しかし、ゴルドレッドは命令に従わなかったという理由で、魔王のコピーを容赦なく消滅させる。

16 『星の心臓』第二階層

第二階層に進んだレインとゴルドレッドは、新たな盾役として伝説級の魔獣【輝獣王】を召喚する。その先に待ち受けていたのは、【天星兵团】の上位クラスである【青の指揮官】ファルニケだった。

17 VS青の指揮官ファルニケ

ファルニケは【破壊】や【防壁】など、複数の『天の遺産』の力を使う強敵だった。レインとゴルドレッドは、レインが強化した石つぶてを連続で投げつけて【防壁】を削り、ゴルドレッドが【変化】でファルニケの動きを封じるといった連携作戦で対抗する。

18 出会えて、よかった

レインの連続攻撃で【防壁】の使用を強制させられたファルニケは、ゴルドレッドの【石化】攻撃を【停止】で防ぐことができず、敗北を認める。勝利した二人は莫大な強化ポイントを手に入れるが、その直後、ゴルドレッドは「君に出会えてよかった」と本音ともとれる言葉を口にしながら、不意打ちでレインの足を石化させる。

19 決別と再会のときへ

ゴルドレッドは、レインがこれ以上強くなる前に始末するため、仲間を演じていたことを明かす。レインが第三術式で反撃しようとする、ゴルドレッドも第三術式で光竜王を含む三体の伝説級の獣を召喚する。絶体絶命の状況の中、リリィ、マルチナ、マーガレットがレインを助けるために駆けつける。

20 かつて、その男は宮廷魔術師だった1

場面はバーナード、ラス、ミラベル、ツイレドゥルゾの一行に切り替わる。ダンジョンを進む中、バーナードは若き日にウラリス王国の宮廷魔術師だった頃を回想する。彼は、天才的な女騎士エステルに憧れと劣等感を抱きながらも、良きパートナーとして共にダンジョン探索に明け暮れていた。

21 かつて、その男は宮廷魔術師だった2

回想は続く。バーナードはエステルとの実力差を感じながらも、彼女とコンビを組む日々には充実感を覚えていた。しかし、その活躍は、民よりも国の体面を重んじる内務大臣マルチェロの反感を買っていた。

22 かつて、その男は宮廷魔術師だった3

ある戦いでエステルが再起不能の重傷を負い、騎士を引退して貴族と結婚することになる。失意のバーナードは、マルチェロの策略によって職務規定違反の濡れ衣を着せられ、宮廷を追放されてしまう。それが、彼が冒険者へと転身するきっかけだった。

23 凡人の役割

回想を終えたバーナードは、レインやラスのような天才を支えることこそが自分の役割だと再認識する。一行の前に【天星兵团】の【紫の猛将】ラゼルセイドが出現し、圧倒的な力で彼らに襲いかかる。

24 VS紫の猛将ラゼルセイド

ヴィレドゥルゾがラゼルセイドの攻撃を辛うじて防ぐが、その伝説的な強さを知る彼は戦意を喪失してしまう。バーナードは、自身が足止めにもならないことを承知の上で、仲間を鼓舞し、サポートに徹することを決意する。ラゼルセイドがとどめの一撃を放とうとした瞬間、黒い斬撃がその攻撃を両断する。

25 黒き刃の女剣士

一行の前に現れたのは、『天の遺産』【防壁】の所持者フローラだった。彼女は、普段は指輪で制限している自身の力を解放し、伝説級の刀【煉獄】を構える。その威圧感ラゼルセイドを凌駕するほどであり、バーナードたちを圧倒する。

26 黒き刃の見つめるもの

フローラは、自身の【防壁】で肉体を強化し、人間を超えた速度で動く戦闘スタイルを披露する。彼女はラゼルセイドを赤子扱いし、奥義【天爪黒雷斬】で一瞬のうちに体を細切れにして葬り去る。しかし、彼女はその戦いに何の感慨も抱かず、己の心を燃やすほどの強敵を求め続ける。

27 第二階層に続く道

フローラは、ラスの剣士としての才能に興味を示し、一時的にバーナードたちと同行することになる。一行は第二階層へと続く巨大な扉にたどり着くが、魔法では開けることができない。フローラはラスに自身の剣技を見せるため、秘剣の極み【黒天閃】を放ち、扉を分子レベルで斬り刻み消滅させる。

28 紅と黄と橙

扉の向こうから【紅の騎士】マーゼノオ、【黄の支援術師】ナナレイア、【橙の武闘家】レシヴァルの三人の【天星兵团】が現れる。彼らは、あのフローラを不意打ちの一撃で戦闘不能に陥れるほどの実力者だった。絶望的な戦力差を前に、バーナードは仲間を逃がすため、一人で三人を食い止める覚悟を決める。

29 王国が滅んだ日1

場面はディータとシリルに切り替わる。彼女たちは【星の心臓】を進む中で、五年前、自分たちの国クリシェ王国が滅んだ日のことを回想する。女王エシャルディータとして国を治めていたディータと、筆頭近衛騎士だったシリルは、穏やかな日常を過ごしていた。

30 王国が滅んだ日2

回想は続く。突如として王都に現れた【侵食】は、街も人々もすべてを飲み込み、消滅させていく。ディータとシリルは、仲間たちの犠牲を払いながら、命からがら王都を脱出する。目の前で故郷が消え去っていく光景を、二人は丘の上からただ見つめることしかできなかった。

31 王国が滅んだ日3

王国を滅ぼされた怒りと憎しみから、ディータは【破壊】の『天の遺産』に覚醒する。彼女は命を削りながら【侵食】に反撃し、その内部に囚われた王都の幻影を見るが、力尽きて意識を失う。絶体絶命のディータを救うため、今度はシリルの【転移】の『天の遺産』が覚醒する。

32 王国は滅び、女王と騎士は進み続ける

シリルは【転移】の力でディータを連れて脱出する。すべてを失った二人は、いつか【侵食】を倒し、囚われた王国を取り戻すことを誓い合い、女王と騎士としてではなく、同じ目的を持つ同志として共に歩み始める。

33 漂う終末の気配

回想を終えたディータとシリルは、連携攻撃で【緑の戦騎兵】たちを瞬殺する。その直後、二人の前に次期魔王を狙う高位魔族リッツェラが現れる。

34 宿命の対峙△

ディータは『支配の紋章』の力で自身の【破壊】能力を増幅させ、広範囲攻撃でリッツェラを跡形もなく消滅させる。しかしその力の代償は大きく、彼女は激しく消耗する。その時、二人はついに宿敵である【侵食】の気配を感知する。ディータは王国を取り戻すため、【破壊・第四術式】の解放をも覚悟し、【侵食】との決戦に臨む。

35 VS赤の魔導師ヴェルテミス

物語はヴィクターたちの戦いに戻る。彼らの前に立ちはだかった【赤の魔導師】ヴェルテミスは、自分が星の意志によって遣わされた審判者であり、所持者たちが最深部に至る資格があるかを見極める役目を持つと語る。

36 VS赤の魔導師ヴェルテミス2

ヴェルテミスは【魔弾】や【停止】など、その場にいる所持者たちと同じ『天の遺産』の力を見せつけ、彼らを圧倒する。未来を【探査】したメリーアンですら全滅する未来しか見えない絶望的な状況の中、ヴィクター、リサ、ジグ、メリーアン、そしてローザの五人は、星を救うという共通の目的のため、共闘してヴェルテミスに挑むことを決意する。